



校訓

せせらぎ

心ゆたかに 健やかに

第11号

R3.2.3

校長 長谷川 晃三郎

2月に入り、今年度も残すところ後2ヶ月となりました。「2月逃げ月」「3月去る月」という言葉がありますが、残りの2ヶ月はこれまで以上に短く感じられます。1年のまとめを一日一日、大切にがんばって欲しいと思います。

さて、コロナの感染拡大が止まりません。佐賀県でも1月から急速に増えています。家庭内感染の割合が増加し、学校や保育園での集団感染も出てきました。学校ではマスクの着用と手洗いを徹底し、換気と放課後の消毒を粘り強く行っています。給食の配膳はできるだけ距離をとって行っています。給食後の歯磨きも廊下の手洗い場での密集を避けるため、3学期からは自分の席で行うようにしました。3学期は6年生を送る会の保護者参観を含め授業参観や懇談会、育友会役員会等の中止を決めました。

保護者の皆様にはマスクの準備や家庭内での感染防止、ご家族や児童本人が濃厚接触者になった場合やPCR検査を受ける場合の確実な連絡等、このような状況の中でもいろいろとご協力をいただいていることに感謝しています。本当に有り難うございます。今後もよろしくお願いたします。

佐賀県学習状況調査の結果等について

1月2日、3日に県の学習状況調査が行われました。対象は4年生以上で、6年生は国・社・算・理の4教科、4、5年生は国語と算数の2教科です。結果を見てみると全33観点中32観点を県の平均を大きく上回っているか同じ程度でした。大規模校でこれだけ良い成績を残せることはあまりありません。昨年度と同調査と比較してみても、知識・技能面や思考力や表現力を問う記述式問題で大きく伸びています。

本校の子どもたちはたいへん素直です。話の聞き方や返事がとても上手です。家庭や地域でたくさんの愛情をもって育ていただいているお陰です。

「病院に行けば病気が治る。学校に行けば勉強が分かる。」という言葉があります。学校にはすぐに理解ができる子どももいれば、理解に時間がかかる子どももいます。理解できない子どもは授業はつまらないと言います。分かってほしいのに分からないのですからそう思うのは当然です。そういった子どもたちを一人でも減らすことが学校の役割です。

そのために、誰もが「分かる」「できる」事を目標に『教えて考えさせる授業』という校内研究のテーマのもと、全職員で授業改善に取り組んでいます。実態や特性の把握を重視し、「個に応じた指導」を重ねています。今後も皆様方のご協力を得ながら、一人ひとりの輝く瞳を目指して、さらに授業改善や個別指導の時間確保のための時間割の変更等を進めていきたいと思っています。



有り難うございます

☆登校時や下校時に、たくさんの方が交差点などのポイントで立哨指導や見守りを行ってくださっています。保護者様、地域の皆様のお陰で子どもたちの安全が守られています。

☆榊様よりもろぶたを10個いただきました。昨年度や一昨年度もコンロや鉄板、うす等を学校のためにと持ってきていただいています。(6年 中丸綾音さんのおじいちゃん)



全校朝会（2月）での話



今年は124年ぶりに2月2日が節分になりました。本日の全校朝会では節分について話をしました。

今日は2月3日です。昨日の2月2日は何の日か分かりますか。そうですね。『節分』です。節分は普通2月3日ですが、今年は2月2日になりました。1, 2年生には難しいと思いますが、節分という文字は「季節を分ける」と書きます。ですから「季節が移り変わる時」という意味です。「今日から春ですよ」という日を『立春』と言いますが、いつもは2月4日が立春です。今年はなんと124年ぶりに一日ずれて今日2月3日が立春になりました。立春の一日前の日が節分と決まっていますので、昨日が節分になったわけです。

さて、節分と言えば何をしますか。豆まきですね。昨日教室やお家で豆まきをしたよという人もいます。昨日の給食でも節分の豆が出ました。最近では節分の日に、恵方巻きを食べるという事もされています。去年や今年は、コロナの感染予防のため、大きな声を出す豆まきではなく、黙って食べる恵方巻きが増えたそうです。

「鬼は外 福は内」豆まきは鬼を追い払い、福、いいことがたくさんありますようにと願って行うものです。では鬼はどこにいらっしゃるのでしょうか。桃太郎の話では鬼ヶ島。一寸法師では京の都に出てきます。でも本当は鬼はどこにいらっしゃるのでしょうか。それは自分の心の中にいるのです。心の中にいる鬼を追い払うことができれば、「福は内」自然とたくさんの幸せがその人に訪れます。ですから節目のこの時に豆まきをしよとしまいと、恵方巻きを食べよと食べまいと心の鬼を退治することができなければ良いことはやってきません。心の鬼を退治することが一番大切なことです。

鬼は心の中に住んでいます。校長先生の心の中にもたくさんいます。追い払ったと思ってもまたやってきて住みついています。だから節目節目に何回も努力して退治しようとするのが大切です。

心の中にはどんな鬼がいるのでしょうか。「我が儘鬼」や「意地悪鬼」「泣き虫鬼」「怒りんぼ鬼」「無責任鬼」などたくさんの種類の鬼がいます。今はコロナにかかってしまった人を差別したり、攻撃したりする「コロナ差別鬼」がとっても増えています。もちろんあなたたちの心の中にはいません。

ちょっと目を閉じてみてください。「好き嫌い鬼」いませんか。「怒りんぼ鬼」はどうでしょう。自分のことしか考えない「自己中鬼」という鬼もいますよ。いませんか。自分の心の中にどんな鬼がいるのか少し考えてみて下さい。はい、目を開けて下さい。どんな鬼がいましたか。誰だって何匹か鬼がいるのがあたりまえです

大事なことは自分の心の中の鬼がどんな鬼なのか分かることです。そして、追い払う努力をすることです。また戻ってきても粘り強く戦うことです。

自分の中にどんな鬼がいるのか分かった人はそれだけで強い人です。伊小の皆さんは強い子どもばかりです。後はその鬼と戦うだけです。校長先生もいつも鬼と戦っています。負けることもたくさんあります。勝つことの方が少ない位です。たまに勝ったと思ってもまた戻ってくることもあります。でも、負けたっていいんです。戦うことができればそれだけで人は成長できます。

あなたたちなら、伊万里小学校の皆さんなら、何回も粘り強く戦うことができると信じています。これで今日の全校朝会での話を終わります。